

# 技術情報

長崎県病害虫防除所長

平成25年度病害虫発生予察技術情報第5号

## チャノキイロアザミウマ新系統（C系統）の発生状況について

平成25年8月に採集したチャノキイロアザミウマの同定結果について、下記のとおりお知らせします。ついては、今後の防除対策の参考にしてください。

### 記

#### 1. 調査結果と発生状況

平成25年8月30日に雲仙市の施設栽培マンゴーから採集したチャノキイロアザミウマ (*Scirtothrips dorsalis*) について、独立行政法人農業・食品産業総合研究機構果樹研究所に同定を依頼した結果、供試した8個体(雌成虫:6個体、雄成虫:2個体)すべてチャノキイロアザミウマ新系統(chilli thrips: C系統)であった。本系統は平成21年9月に諫早市の施設栽培マンゴーで一時的に発生したが、その後の発生拡大は認められていなかった。このため、本県ではこれまでマンゴー以外の栽培植物での発生は認められていない。

#### 2. C系統の寄主範囲

国内ではチャノキイロアザミウマ在来系統(yellow tea thrips: YT系統)が主に茶や果樹等の害虫として問題となってきたが、今回発生を確認したC系統は、これまでにマンゴー(鹿児島県、宮崎県、愛媛県、千葉県、佐賀県、福岡県)、ハウスミカン(鹿児島県)、トルコギキョウ(熊本県、栃木県)、ピーマン(沖縄県、高知県)およびシシトウ(高知県)で発生が報告され、YT系統は寄生しないピーマンやシシトウなどでの被害発生が新たな問題となっている。

#### 3. 今後の発生と防除について

- 1) 県内では一部の施設栽培マンゴーで発生を確認したのみであり、現在、野外で広域に分布している状況ではない。
- 2) 今後、発生園の近隣で寄主植物を栽培する場合には、C系統の発生が懸念されるため注意が必要である。
- 3) C系統は形態的にYT系統と区別できないので、両者の判別には遺伝子診断が必要である。C系統の発生の疑いがある場合には、関係機関等を通じ県病害虫防除所に連絡する。
- 4) マンゴーでの防除に当たっては、チャノキイロアザミウマまたはアザミウマ類で登録のある薬剤を用いて輪番施用する。

---

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL: 0957-26-0027